

## 平成27年新春セミナー・行政講演・賀詞交歓会

本年1月30日にメルパーク東京にて、国土交通省 屋敷次郎様と、厚生労働省 上田国土様に講演をお願いし、新春セミナーが開催されました。講演会の後は、ご講演いただいた御二方とセミナー参加者による意見交換会が行われました。また、新春セミナーの後は、多数の来賓・会員ご参加による交流促進を図って頂く場となる賀詞交歓会が開催されました。

### 新春セミナー

#### 野崎正和会長より開講挨拶

新年おめでとうございます。建設業界は非常に忙しくなって、復興だけでなく公共工事が仕事が増えて、大変良いフォローの風が吹いております。行政改革では、改正品確法が新しく出来まして、担い手確保等について、少しずつですが我々の思いが行政の方々に受け入れてもらえているように感じております。社会保険の問題については日建連から、平成27年度は一次業者が全部加入しないと仕事を発注してはならない、又、二次業者に関しては平成28年度から加入しないと発注させないというような通達がゼネコンに出ているようです。労務単価の高騰、機械資材等の高騰等の問題もあります。安倍総理大臣も国土強靱化を目指し、公共工事等の施策を講じていますが、我々も色々な課題を行政、ゼネコン、専門工事業が三位一体となって解決していかなければならないと思っています。



### 行政講演

#### 「我が国の建設業の現況と今後の展望について」

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課長 屋敷次郎 様



- ① 我が国の建設業関連指標の推移
- ② 建設業における人手確保の現状及び今後の見通し(安定的・持続的予算確保が必要)
- ③ 国土のグランドデザイン2050
- ④ リニア中央新幹線の概要
- ⑤ 公共工事設計労務単価の推移
- ⑥ 品確法と建設業法・入契法の一体的改正
- ⑦ 社会保険等未加入対策の全体像
- ⑧ 建設業の総合的な人材確保・育成対策(処遇改善、若手の活用、環境整備、教育訓練の充実強化、女性の活躍推進、建設生産システムの省力化・効率化・高度化)
- ⑨ 登録基幹技能者制度
- ⑩ 技能労働者の見える化
- ⑪ 建設分野における外国人材の活用

について講演され、最後に「社会保険加入については、標準見積書提出する勇気を、外国人労働者については、日本人と同様な安全、処遇、報酬対応を望みたい」と述べられました。

#### 「建設労働をめぐる情勢と人材確保に向けた取組について」

厚生労働省 職業安定局 雇用開発部 雇用開発企画課 建設港湾対策室長 上田国土 様



- ① 建設分野における就業者の現状など(建設業は55歳以上が34%、29歳以下は10%)
- ② 建設分野における雇用環境(単純失業率、有効求人倍率、高卒者の就職・離職、実労働時間、年収、完全週休2日制の普及状況、若手の就職しない理由、離職する原因)
- ③ 建設人材確保対策について(国土交通省と連携)
  - ・平成26年度の取組と平成27年度(魅力ある職場づくりの推進、ハローワークにおけるマッチング強化、職業訓練の充実、事業主や事業主団体等への助成による取組支援の充実)の取組について
- ④ 今後、建設業が向うべき方向(賃金等の処遇、社会保険の加入、人材育成の取組等)

について講演され、「人材の確保に繋がる雇用管理関連の推進、在職者の人材育成を皆様の協力を得ながら推進したい」と締めくくられました。

## 意見交換テーマ

- ① 公共工事設計労務単価決定用の労務費調査回数の増加について
- ② 改正品確法運用における登録基幹技能者の評価・活用について
- ③ 専門工事業評価制度について
- ④ トンネル工事の技能員数・育成所要年数等を考慮した、中長期視野での工事標準化について
- ⑤ トンネル工の厚生労働省建設労働者緊急人材育成計画の扱いについて
- ⑥ 厚生労働省雇用管理制度コースのメンター制度について
- ⑦ ハローワークの民間転職サイトと同等の効率の良い運用について
- ⑧ 厚生労働省 労働者確保育成助成金（技能実習コース）及び同中小建設事業主団体経費助成金の拡充について

## 賀詞交歓会

※お役職は平成27年1月30日現在です

### 国土交通省 大臣官房 技術審議官 山田邦博 様



公共工事は多少ですが2年連続で増加しており、少しは目標をクリア出来た結果ではないかと思っております。昨年改正された品確法では、公共工事の品質確保を担って頂く皆様方が適正な利潤を確保出来るよう、我々発注者の責務が示されております。本日の会議では、そのための発注業務に関する運用指針について大筋が決まりました。実際に実行するに当たっては、皆様のご支援を賜りまして、担い手の育成確保が出来るようにしていきたいと思っております。

### 国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課長 屋敷次郎 様



今後数年を考えますと、大変厳しい状況ではありますが、昨年は若年労働者の定着に明るい兆しが見えたので、今年はそれをさらに伸ばすべく、皆様と一緒に努力して行きたいと思っております。適正な利潤につきましても、専門工事業の皆様のご意見や悩みを伺いながら、実現に向けて一緒に考えて行きたいと思っております。

### 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 田中敏章 様



昨年の労働災害は、死亡者数が増えました。東日本大震災の復興等に伴う建設投資の増加により、人員不足等現場管理に支障をきたしていることや安全対策がおろそかになっていることが原因ではと懸念されます。今後も、オリンピックやリニア新幹線等建設工事の増加は見込まれますが、これらによって労働災害が増加することのないようにしなければなりません。建設工事における安全確保が魅力ある建設産業の基盤になるものと思っております。

### 一般財団法人 建設業振興基金 理事長 内田 俊一 様



建設産業に入った若者のうち3年ぐらいで辞めて行く人が多いようですが、必ずしも若者の責任ではないようです。現場では若者を教えるゆとりがない、事務所に帰っても心を許せる先輩や同僚がいないため孤立してしまい、一人前になる前に辞めてしまうことが残念です。若者を雇入れた企業には、一人前に育て上げる責任と、給料をきちんと払う責任があります。そのためには、確実に利益を上げることが必要であり、現場責任者は勿論のこと重役や社長が予算管理や原価管理をしっかりやらなければなりません。私共も厚労省、国交省と協力して、若者達がどんな小さな会社に入っても、きちんとした訓練を受けられる仕組みを作っていきたいと思っております。

## 新型機械発表見学会

平成26年12月18日に会員企業古河ロックドリル(株)がリニア中央新幹線工事対応の新型ドリルジャンボを開発され、発表会を群馬県吉井工場にて開催されるとのことで、見学会を開催しました。トンネル専門協施工環境委員会委員をはじめとして、会員17名、報道記者5名、事務局1名計23名が参加しました。



## トンネル専門協合同安全パトロールの実施

平成27年2月19日～20日に岩手県宮古市小国地内の一般国道340号立丸峠工区小峠トンネル工事で合同安全パトロールが行われました。村崎建設(株)安全品質担当部長 清水秀敏氏、所長 増田忠氏立合の安全朝礼後、現場安全パトロールが行われ、その後、講評・意見交換が行われました。

### 工事概要

工期：H.26.3.6～H.28.2.13  
 元請：(株)奥村組・(株)大本組  
 高德建設(株)特定共同企業体  
 施工：村崎建設(株)



安全朝礼状況



坑口状況



坑内安全通路、路盤

現場は、全般的に良く整備されており、路盤、安全通路、切羽照明等良好でした。また、この工事は、地元住民とのコミュニケーションも頻繁に図られており、地元の期待が非常に高い工事であると感じられました。

## 平成26年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰



トンネル専門協より推薦しました安全優良職長候補者の受賞が決定し、平成27年1月13日に中央合同庁舎(東京千代田区)での顕彰式典にて受賞されました。安全優良職長は、一定の技能と経験を有し、担当する現場又は部署が優良な安全成績をあげた労働者を直接指揮する職長、班長等を厚生労働大臣が顕彰するものです。大変おめでとうございます。

西豊工業(株) 小山盛男 (敬称略)



## 登録トンネル基幹技能者講習

平成27年2月5日～8日に東日本会場(富士宮)にて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。5名の受講者は2月12日に行われた基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、全員の修了が承認されました。



修了証番号	所属組織名	氏名
第061502-00485号	木部建設(株)	米澤 真人
第061502-00486号	笹島建設(株)	岩本 輝
第061502-00487号	成豊建設(株)	角張 磨
第061502-00488号	成豊建設(株)	後藤 洋之
第061502-00489号	成豊建設(株)	八木 宏達

また、1月17日に開催された更新講習で11名の方が修了証の更新をされました。

## 協会からのお知らせ(今後の予定)

- 平成27年度第1回更新講習(大阪) 平成27年6月13日
- 平成27年度第1回登録トンネル基幹技能者講習(三田建設技能研修センター) 平成27年7月9日～12日
- 平成27年度第2回更新講習(盛岡) 平成27年9月5日
- 平成27年度秋季セミナー・懇親会 平成27年9月18日
- 平成27年度第2回登録トンネル基幹技能者講習(富士教育訓練センター) 平成27年11月12日～15日
- 平成27年度第3回更新講習(東京) 平成27年12月12日
- 平成27年度第4回更新講習(大阪) 平成28年2月

品質とサービスネットワーク



日本キャタピラー トンネルレンタルグループ

本社 : 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 21 階

東日本地区

大郷機材センター : 宮城県黒川郡大郷町東成田字薬師堂 24-4

西日本地区 : 大阪府茨木市下井町 1-23

TEL : 03-5334-5674

TEL : 022-359-4951

TEL : 072-641-6691

日本キャタピラー



Rental STORE.

シゲマツ

労働安全衛生保護具・機器

創業1917年



株式会社 重松製作所  
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.

www.sts-japan.com

本社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 1-26-1  
TEL 03(6903)7525(代表) FAX 03(6903)7520



ラムダライン  
LINE

ラムダラインは、A(ラムダ)形になった係留テープが立体構造をしっかりとキープするマスクの優物。

ぴったり  
密着!

使い捨て式防じんマスク  
3つの機能で漏れなく安全

アジャスター クッション 鼻当て

未来は明るい、と言えるイノベーション。

「成長」「発展」「機会」「可能性」そして「悔の高鳴り」...  
変化は、新しい“何か”をもたらしてくれます。しかし、ときには光が見えず、戸惑うこともあります。  
私たちは、そんなときこそ頼れるパートナーでありたい。新しいことに挑むお客さまに、  
世界130以上の国や地域におけるネットワークと経験をもつAIUグループの一員として  
私たちにしか提供できない“世界品質の安心”をお届けしていきたい。  
1946年から日本で外資系損害保険会社のパイオニアとして発展を遂げて60年余り、  
AIUはずっと時代の変化に対して、既存の概念にとらわれない  
新しい価値を持つ商品やサービスをおり出し、ご提供してきました。時代がどんなに変わっても、  
いつも未来に可能性を感じ、「未来は明るい」と胸を張って買えるように。  
私たちはこれからも“安心”を進化させ続けます。

Create New Value  
私たちにしかつくりえない“世界品質の安心”を。



AIU損害保険株式会社  
http://www.aiu.co.jp

東京本社  
〒100-8224 東京都千代田区丸の内1-2-2  
〒130-8560 東京都葛飾区新小岩1-2-4 アスカビル  
TEL 03-3212-4411(内線)

代理店 株式会社ロイズ保険事務所  
株式会社リスクファイナンス

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors  
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : http://www.tunnel.jp